キャラクター名
カナタ　クスメギ

プレイヤー名

ベースシークエンス	グラディウス	**レベル**	6
アザーシークエンス	ニュートリノ	**性別**	男
出生タイプ		**年齢**	18

出自	王族	**運命**	手練	**瑕疵**	

	初期	成長	他修正	能力値	一般判定成功率
体	5	0	0	5	35 %
知	5	0	0	5	35 %
敏	16	5	2	23	53 %
運	7	5	0	12	42 %

HP	63
MP	52
移動時ウィル	11
戦闘時ウィル	32

装備品		命中	威力	回避	命中	威力	回避	行動	防護
武器１	ライトニング	1	11						
武器２									
防具	レザーマント			2			2		2
インナー	フリースシャツ			1					
アクセサリ	ストームブリンガー								
アクセサリ	コンバットブーツ			1					
能力値＋ボーナス		39	6	9	29	0	4	23	0
アーツ		2	20	6		5		25	
その他									
総計(１)		42 %	37	19 %	29 %	5	6 %	48	2
総計(２)		41 %	26	19 %	29 %	5	6 %	48	2
総計(両)		42 %	37	19 %	29 %	5	6 %	48	2

所持品			
活動基本装備			
ヴァイタルドリンク			
ブレイブハーツ			

所持金：　710　　預金・借金：

アーツ名	AL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	メモ
ヴェロシティ	1/1	2	アクション	自身	敵単体	0	
効果：装備している武器で攻撃を行う。このダメージに+[行動値の2分の1]							
クィックシフト	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：戦闘ごとに初めてあなたが行った攻撃が命中したとき、それが与えるダメージに+10							
スピードスター	5/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：行動値に+[5xAL]							
レイテント・パワー	1/1	0	インスタント	自身	自身	0	
効果：1シナリオ1回使用可能　ウィル5点を得る。ハイランダーのみ取得可能。アーツ枠を消費しない							
エリート	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：成長でアーツを3つ取得できる。成長は1Lvのみ。アーツ枠を消費しない。							
カウンターオフェンシブ	1/1	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：白兵攻撃の与えるダメージに+[白兵回避の2分の1]							
インエビタブル	5/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：自分が行う攻撃に対する白兵・射撃回避を-[5*AL]　0%以下になった場合判定を行えない。							
トライアンフ	1/1	0	インスタント	自身	自身	1	
効果 :1シナリオ1回使用可能　敵単体への攻撃命中時、《パンプアップ》の代わりにウィルとLウィルを合計1点以上消費し、消費した合計と同じ数のD6を振る							
ライトクロス	1/1	0	パーマネント	自身	自身	1	
効果：白兵攻撃の与えるダメージに+[白兵回避の3分の1]							
アボイダンス	2/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：白兵回避に+[3xAL]%　ただし、あなたの白兵回避判定でリロールが行えなくなる							
ソード・エンハンス	1/5	0	パーマネント	自身	自身	1	
効果：ソードによる武器攻撃の命中に+[2xAL]%							
インモビリティ	1/5	0	パーマネント	自身	自身	0	
効果：イネビタブルが5レベルの時、白兵、射撃攻撃が与えるダメージに+[5xAL]							
効果：							
効果：							
効果：							

●カナタについて
本名は「カザハナ＝カナタ」(祖国では姓が先)
現国王の弟の子で王位継承権は二人の王子、カナタの父親についで4位。
とはいえ、順当にいけば上の王子に継がれるはずなのでカナタはあまり気にしていない。

幼いころから剣術を習っており、身分を隠して大会に出場していた。
クスメギ姓は剣の師匠のものであり、大会に登録する際に使用していた。

ハイランダーとしての使命感や正義感には熱いのだが、あまり表に出さないうえに
基本的にめんどくさがりなのであまり理解されないことがある。

一通りの帝王学を学んでいるため“王族らしい”振る舞いをすることは可能なのだが、
めんどくさいのでしない。が、無意識でもそれなりに仕草がきれいだったりする。
王族であることを隠しているのもいろいろと面倒なことが起きそうだから。

本人はアカデミアに来てあまり周囲の目を気にしなくて良くなったから楽だと思っている。

城内でいろいろと見てきたせいで貴族や役人は好きではない。
一方、師匠の影響で騎士や傭兵といった人には敬意を払っている。

ハイランダーとしての発現は自然なものであったため、王族を除くと知っているものはほとんどいない。
発現前からアサルトエンジンのことは知っていたため入学を希望したが、両親(とリッカ)に反対された。